

第117回

トラック運送業界の景況感（速報）

令和4年1月～3月期

日銀短観（3月調査）では、原材料価格の高騰による収益環境の悪化、新型コロナウイルス感染拡大、まん延防止等重点措置の適用で国内経済活動が抑制されたものの、大企業製造業の業況判断指数はプラス14、大企業非製造業はプラス9とプラス圏を維持した。

一方、トラック運送業においては、輸送量の増加、運賃料金水準も改善しているにもかかわらず、燃料高騰分が転嫁されず、運送原価が増大したことから、令和4年1月～3月期の景況感 は▲44.0と前回より23.0ポイント悪化するなど、大きくマイナス圏に沈んだ。

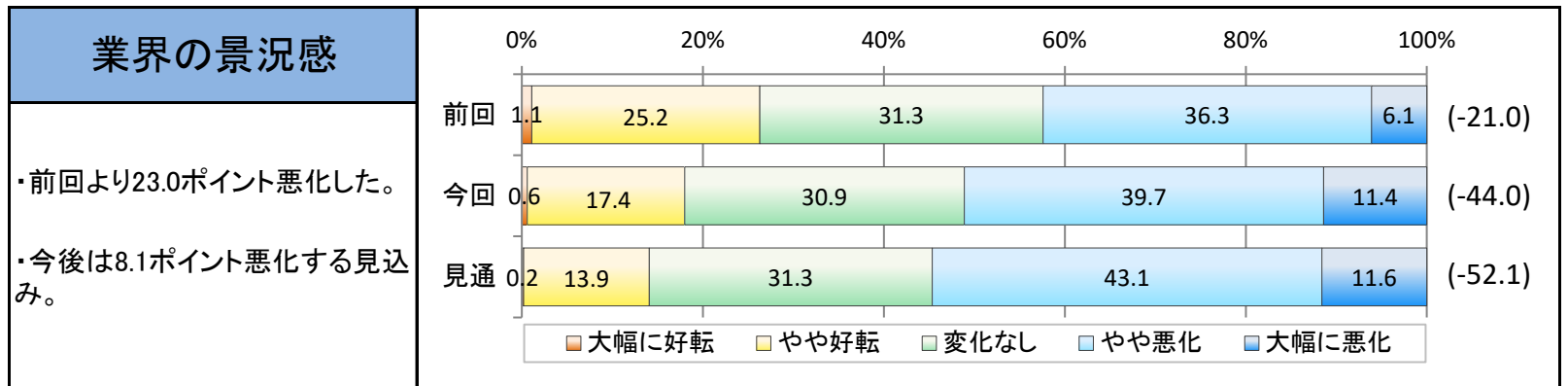
なお、今後の見通しは、ウクライナ侵攻の影響を受けた原油価格高騰や一層の円安進行等を反映し、燃料コストが重しとなり、業界の景況感の見通しは▲52.1（今回▲44.0）と、8.1ポイント悪化する見込みである。

令和4年5月11日

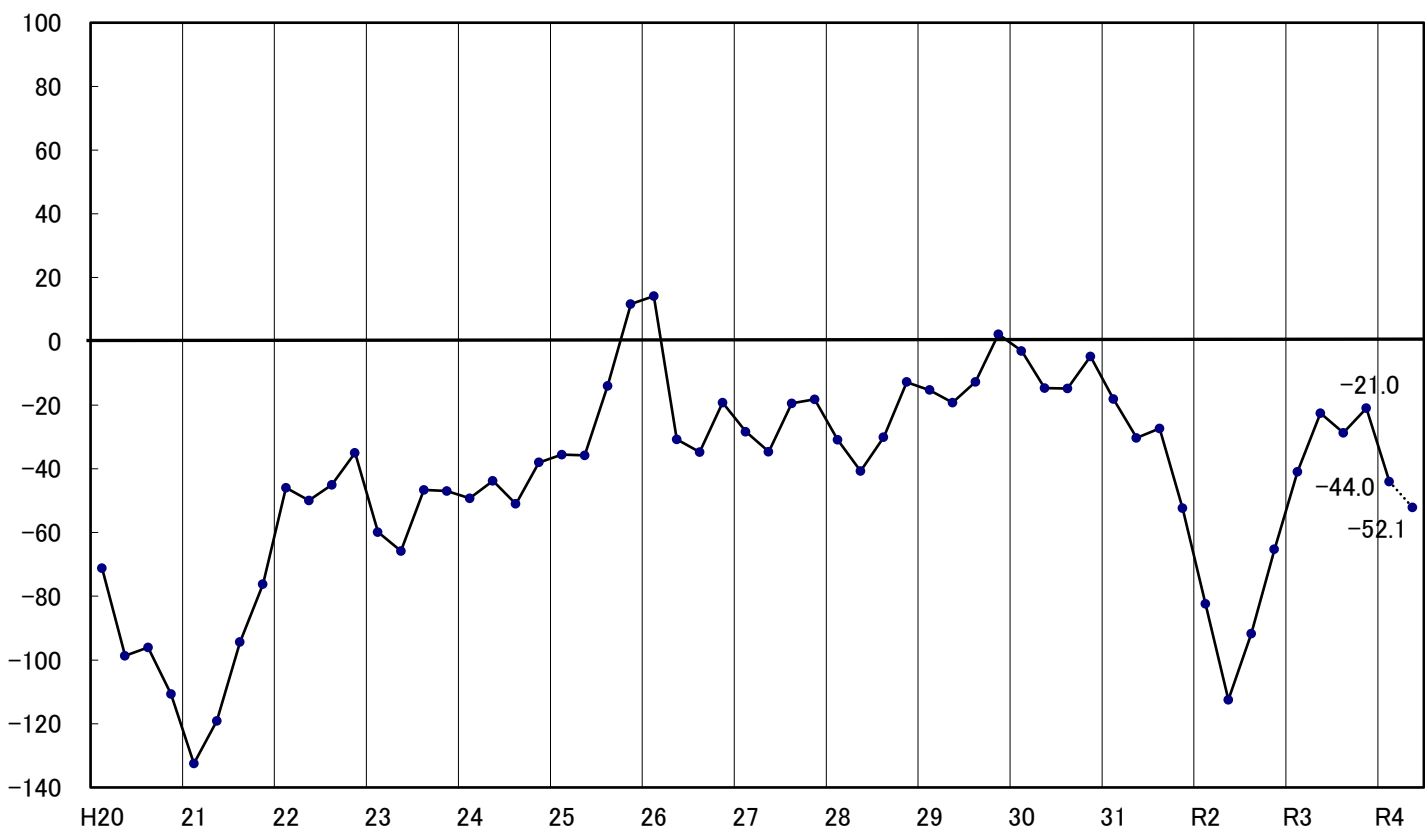
公益社団法人 全日本トラック協会

1 業界の景況感:今回(令和4年1月~3月期)の概況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 業界の景況感は燃料価格高騰の影響を受け、「好転」とした事業者は18.0%(前回26.3%)、「悪化」とした事業者は51.1%(前回42.4%)で、判断指標は▲44.0と前回より23.0ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 今後の見通しは、燃料価格の高止まり、円安による経費増加等の要因を織り込み、▲52.1(今回▲44.0)と、8.1ポイント悪化する見込みである。



トラック運送業界の景況感の推移(H20以降)



(注1) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の上段は前回(R3.10月~12月期)の状況、中段は今回(R4.1月~3月期)の状況、下段は今後(R4.4月~6月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比の回答である。

(注2) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

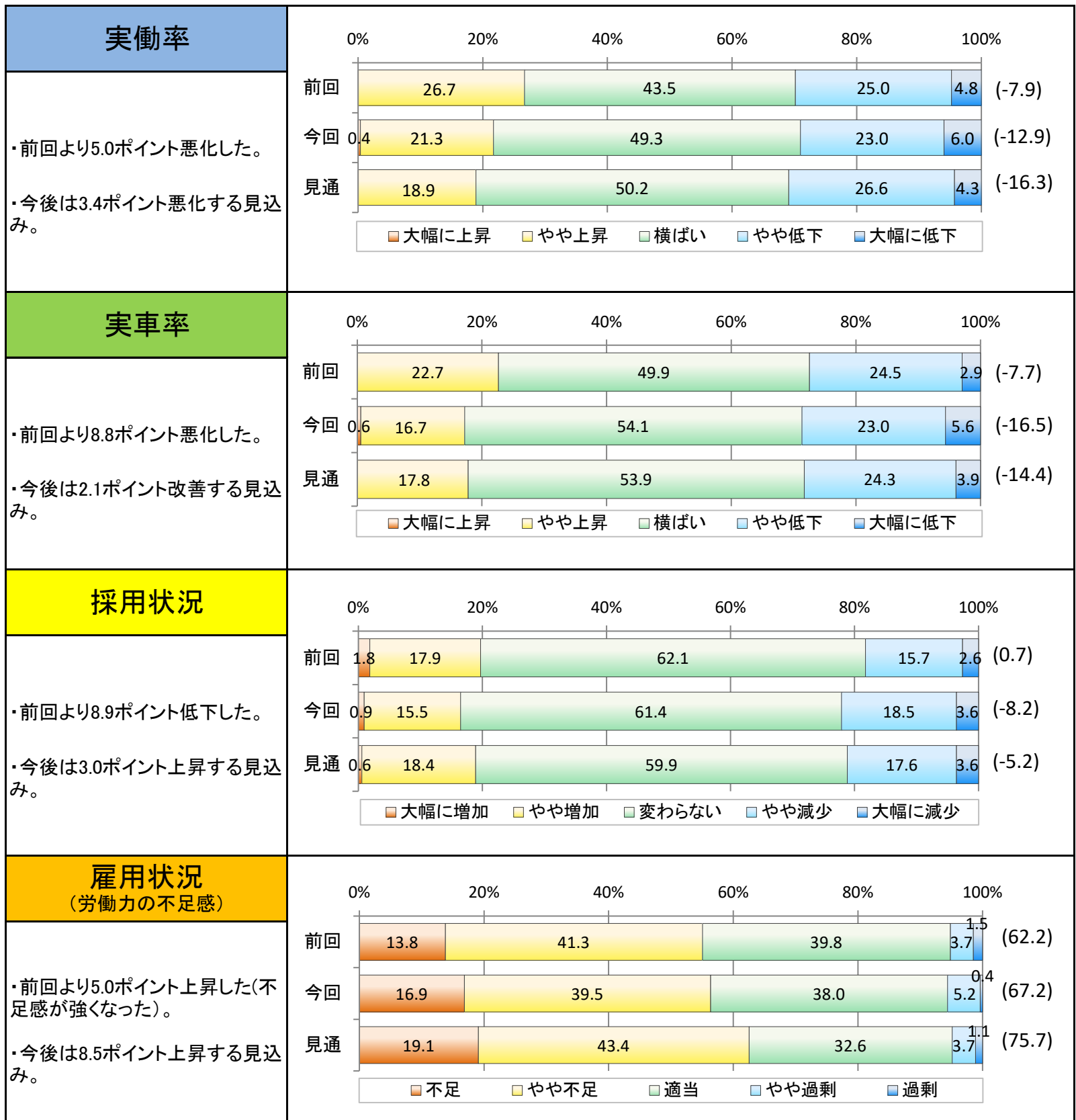
(注3) 各グラフ(3段の横棒グラフ)右側にあるカッコ内は判断指数。各判断指数は、各設問の回答に対し、「大幅に増加・上昇・好転、労働力不足」は+2、「やや増加・上昇・好転、労働力不足」は+1、「横ばい」は0、「やや減少・低下・悪化、労働力過剰」は-1、「大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰」は-2の点数に置き換え、平均を100倍することにより各判断指数を算出している。

$$A(\text{設問Aの回答者数}) = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 (\text{設問Aの選択肢1~5の回答数の和})$$

$$\text{指標} = \{(+2 \times a_1) + (+1 \times a_2) + (0 \times a_3) + (-1 \times a_4) + (-2 \times a_5)\} \div A \times 100$$

2 共通の概況①:今回(令和4年1月~3月期)の状況と今後の見通し

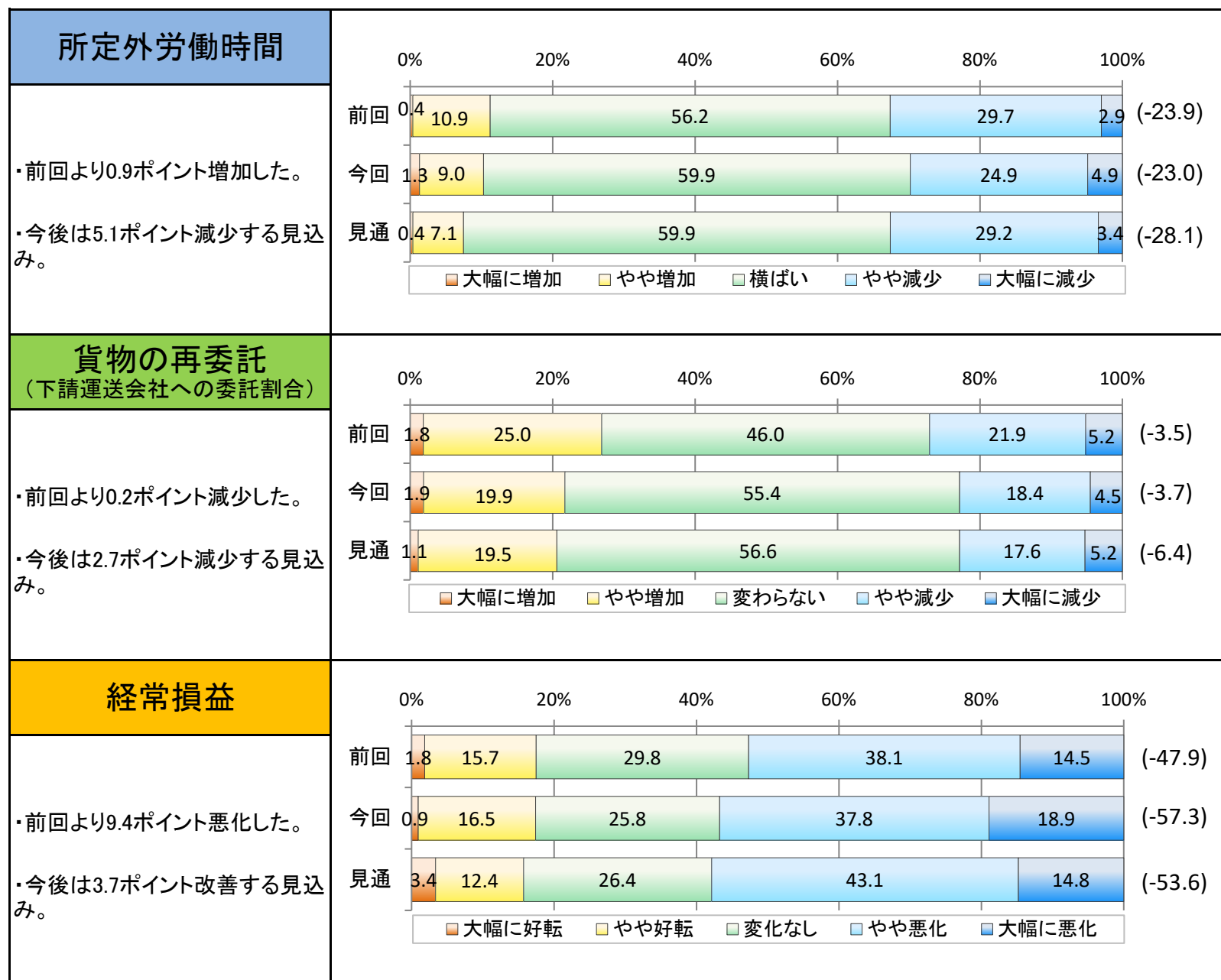
今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実働率は▲12.9(前回▲7.9)と5.0ポイント悪化、実車率は▲16.5(前回▲7.7)と8.8ポイント悪化した。 ・ 採用状況は▲8.2(前回0.7)と8.9ポイント低下し、雇用状況(労働力の不足感)は67.2(前回62.2)と5.0ポイント上昇し、労働力の不足感は強くなった。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実働率は▲16.3(今回▲12.9)と3.4ポイント悪化するが、実車率は▲14.4(今回▲16.5)と2.1ポイント改善の見込みである。 ・ 採用状況は▲5.2(今回▲8.2)と3.0ポイント上昇するが、雇用状況(労働力の不足感)は75.7(今回67.2)と8.5ポイント上昇し、労働力の不足感が強くなる見込みである。



(注4)雇用状況については、上段は前回(R3.10月~12月期)の状況、中段は今回(R4.1月~3月期)の状況、下段は今後(R4.4月~6月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

3 共通の概況②:今回(令和4年1月~3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲23.0(前回▲23.9)と0.9ポイント増加、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲3.7(前回▲3.5)と0.2ポイント減少した。 経常損益は燃料価格上昇によるコストアップが影響し、▲57.3(前回▲47.9)と9.4ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲28.1(今回▲23.0)と5.1ポイント減少、貨物の再委託は▲6.4(今回▲3.7)と2.7ポイント減少する見込みである。 経常損益は燃料価格の高止まりによりコストアップの見込みを織り込み、▲53.6(今回▲57.3)と3.7ポイント改善する見込みである。



【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第117回調査は、令和4年4月5日に、モニターに対して調査開始、令和4年4月30日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
82	511	534

4 一般貨物:今回(令和4年1月~3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は1.8(前回▲6.5)と8.3ポイント改善、運賃・料金の水準は▲0.4(前回▲1.7)と1.3ポイント改善したことから、営業収入(売上高)は3.1(前回▲1.7)と4.8ポイント改善した。 営業利益は燃料高騰の影響を受け、▲58.0(前回▲47.2)と10.8ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、運賃・料金の水準は9.8(今回▲0.4)と10.2ポイント改善するものの、輸送数量は1.0(今回1.8)と0.8ポイント悪化することから、営業収入(売上高)は0.0(今回3.1)と3.1ポイント悪化する見込みである。 営業利益は、▲61.8(今回▲58.0)と3.8ポイント悪化する見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 1.9 29.5 32.4 32.6 3.6 (-6.5)</p> <p>今回 0.4 28.0 48.6 18.8 4.1 (1.8)</p> <p>見通 1.4 24.1 51.8 19.6 3.1 (1.0)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 12.0 76.4 9.5 2.1 (-1.7)</p> <p>今回 13.7 73.7 11.0 1.6 (-0.4)</p> <p>見通 24.3 63.5 9.8 2.4 (9.8)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや下落 ■ 大幅に下落</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 1.1 28.4 39.8 29.0 1.7 (-1.7)</p> <p>今回 0.8 31.2 44.5 17.5 6.1 (3.1)</p> <p>見通 0.2 27.6 48.4 19.4 4.3 (0.0)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 1.1 16.2 33.0 33.7 16.0 (-47.2)</p> <p>今回 0.8 14.1 33.5 29.4 22.2 (-58.0)</p> <p>見通 0.8 10.0 34.3 36.5 18.4 (-61.8)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>

5 宅配貨物:今回(令和4年1月～3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 宅配貨物では、輸送数量は22.2(前回12.1)と10.1ポイント改善、運賃・料金の水準は19.4(前回10.3)と9.1ポイント改善したことから、営業収入(売上高)は16.7(前回3.4)と13.3ポイント改善した。 営業利益は▲13.9(前回▲12.1)と1.8ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 宅配貨物では、運賃・料金の水準は13.9(今回19.4)と5.5ポイント悪化するものの、輸送数量は25.0(今回22.2)と2.8ポイント改善することから、営業収入(売上高)は22.2(今回16.7)と5.5ポイント改善する見込みである。 営業利益は▲25.0(今回▲13.9)と11.1ポイント悪化する見込みである。

輸送数量	0%	20%	40%	60%	80%	100%																					
<p>・前回より10.1ポイント改善した。</p> <p>・今後は2.8ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <tr> <td>前回</td> <td>5.2</td> <td>27.6</td> <td>46.6</td> <td>15.5</td> <td>5.2</td> <td>(12.1)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>5.6</td> <td>38.9</td> <td>33.3</td> <td>16.7</td> <td>5.6</td> <td>(22.2)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>8.3</td> <td>36.1</td> <td>33.3</td> <td>16.7</td> <td>5.6</td> <td>(25.0)</td> </tr> </table> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>						前回	5.2	27.6	46.6	15.5	5.2	(12.1)	今回	5.6	38.9	33.3	16.7	5.6	(22.2)	見通	8.3	36.1	33.3	16.7	5.6	(25.0)
前回	5.2	27.6	46.6	15.5	5.2	(12.1)																					
今回	5.6	38.9	33.3	16.7	5.6	(22.2)																					
見通	8.3	36.1	33.3	16.7	5.6	(25.0)																					
運賃・料金の水準	0%	20%	40%	60%	80%	100%																					
<p>・前回より9.1ポイント改善した。</p> <p>・今後は5.5ポイント悪化する見込み。</p>	<table border="1"> <tr> <td>前回</td> <td>10.3</td> <td>89.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10.3)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>5.6</td> <td>25.0</td> <td>55.6</td> <td>11.1</td> <td>2.8</td> <td>(19.4)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>2.8</td> <td>27.8</td> <td>52.8</td> <td>13.9</td> <td>2.8</td> <td>(13.9)</td> </tr> </table> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや下落 ■ 大幅に下落</p>						前回	10.3	89.7				(10.3)	今回	5.6	25.0	55.6	11.1	2.8	(19.4)	見通	2.8	27.8	52.8	13.9	2.8	(13.9)
前回	10.3	89.7				(10.3)																					
今回	5.6	25.0	55.6	11.1	2.8	(19.4)																					
見通	2.8	27.8	52.8	13.9	2.8	(13.9)																					
営業収入(売上高)	0%	20%	40%	60%	80%	100%																					
<p>・前回より13.3ポイント改善した。</p> <p>・今後は5.5ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <tr> <td>前回</td> <td>5.2</td> <td>29.3</td> <td>39.7</td> <td>15.5</td> <td>10.3</td> <td>(3.4)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>5.6</td> <td>36.1</td> <td>33.3</td> <td>19.4</td> <td>5.6</td> <td>(16.7)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td></td> <td>50.0</td> <td>30.6</td> <td>11.1</td> <td>8.3</td> <td>(22.2)</td> </tr> </table> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>						前回	5.2	29.3	39.7	15.5	10.3	(3.4)	今回	5.6	36.1	33.3	19.4	5.6	(16.7)	見通		50.0	30.6	11.1	8.3	(22.2)
前回	5.2	29.3	39.7	15.5	10.3	(3.4)																					
今回	5.6	36.1	33.3	19.4	5.6	(16.7)																					
見通		50.0	30.6	11.1	8.3	(22.2)																					
営業利益	0%	20%	40%	60%	80%	100%																					
<p>・前回より1.8ポイント悪化した。</p> <p>・今後は11.1ポイント悪化する見込み。</p>	<table border="1"> <tr> <td>前回</td> <td>24.1</td> <td>50.0</td> <td>15.5</td> <td>10.3</td> <td></td> <td>(-12.1)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>33.3</td> <td>30.6</td> <td>25.0</td> <td>11.1</td> <td></td> <td>(-13.9)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>30.6</td> <td>27.8</td> <td>27.8</td> <td>13.9</td> <td></td> <td>(-25.0)</td> </tr> </table> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>						前回	24.1	50.0	15.5	10.3		(-12.1)	今回	33.3	30.6	25.0	11.1		(-13.9)	見通	30.6	27.8	27.8	13.9		(-25.0)
前回	24.1	50.0	15.5	10.3		(-12.1)																					
今回	33.3	30.6	25.0	11.1		(-13.9)																					
見通	30.6	27.8	27.8	13.9		(-25.0)																					

※ 宅配貨物に関する回答事業者は一部に限定され、また回答サンプル数が少ないため、上記調査結果は宅配貨物を網羅的に評価した結果となっていない場合がある。

6 宅配以外の特積貨物:今回(令和4年1月~3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 宅配以外の特積貨物では、輸送数量は12.1(前回▲14.0)と26.1ポイント改善、運賃・料金の水準は1.5(前回▲12.4)と13.9ポイント改善したことから、営業収入(売上高)は7.6(前回▲19.6)と27.2ポイント改善した。 営業利益は▲39.4(前回▲36.4)と3.0ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 宅配以外の特積貨物では、輸送数量は18.2(今回12.1)と6.1ポイント改善、運賃・料金の水準は16.7(今回1.5)と15.2ポイント改善することから、営業収入(売上高)は19.7(今回7.6)と12.1ポイント改善する見込みである。 営業利益は▲40.9(今回▲39.4)と1.5ポイント悪化する見込みである。

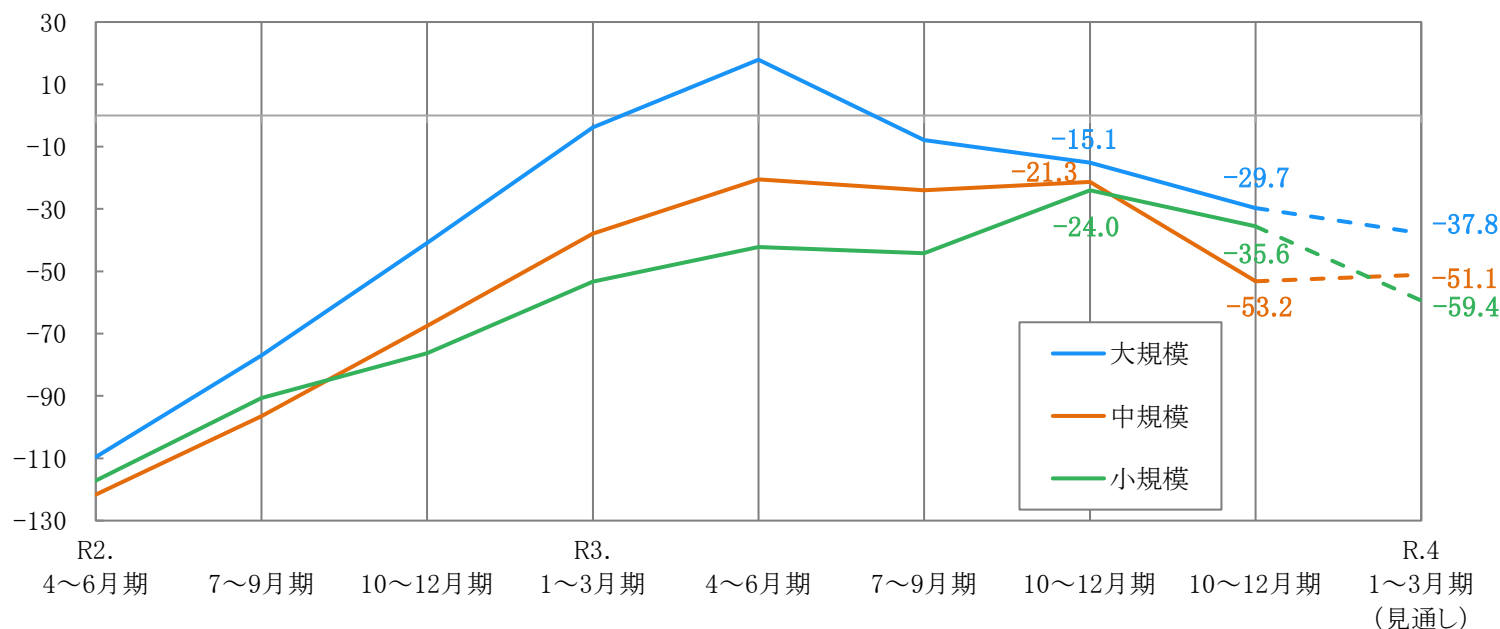
輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 21.5 43.0 35.5 (-14.0)</p> <p>今回 39.4 42.4 9.1 9.1 (12.1)</p> <p>見通 39.4 45.5 9.1 6.1 (18.2)</p> <p>■大幅に増加 ■やや増加 ■横ばい ■やや減少 ■大幅に減少</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 13.3 61.0 25.7 (-12.4)</p> <p>今回 16.7 72.7 6.1 4.5 (1.5)</p> <p>見通 25.8 69.7 4.5 (16.7)</p> <p>■大幅に上昇 ■やや上昇 ■横ばい ■やや下落 ■大幅に下落</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 18.7 43.0 38.3 (-19.6)</p> <p>今回 34.8 45.5 12.1 7.6 (7.6)</p> <p>見通 40.9 42.4 12.1 4.5 (19.7)</p> <p>■大幅に増加 ■やや増加 ■横ばい ■やや減少 ■大幅に減少</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 15.9 37.4 41.1 5.6 (-36.4)</p> <p>今回 19.7 37.9 25.8 16.7 (-39.4)</p> <p>見通 21.2 30.3 34.8 13.6 (-40.9)</p> <p>■大幅に増加 ■やや増加 ■横ばい ■やや減少 ■大幅に減少</p>

7 事業者特性格別の特徴①:規模別・品目別 業界の景況感

規模 (注5)

- ・大規模事業者：▲29.7(前回▲15.1)と14.6ポイント悪化、今後は▲37.8と8.1ポイント悪化見通し。
- ・中規模事業者：▲53.2(前回▲21.3)と31.9ポイント悪化、今後は▲51.1と2.1ポイント改善見通し。
- ・小規模事業者：▲35.6(前回▲24.0)と11.6ポイント悪化、今後は▲59.4と23.8ポイント悪化見通し。

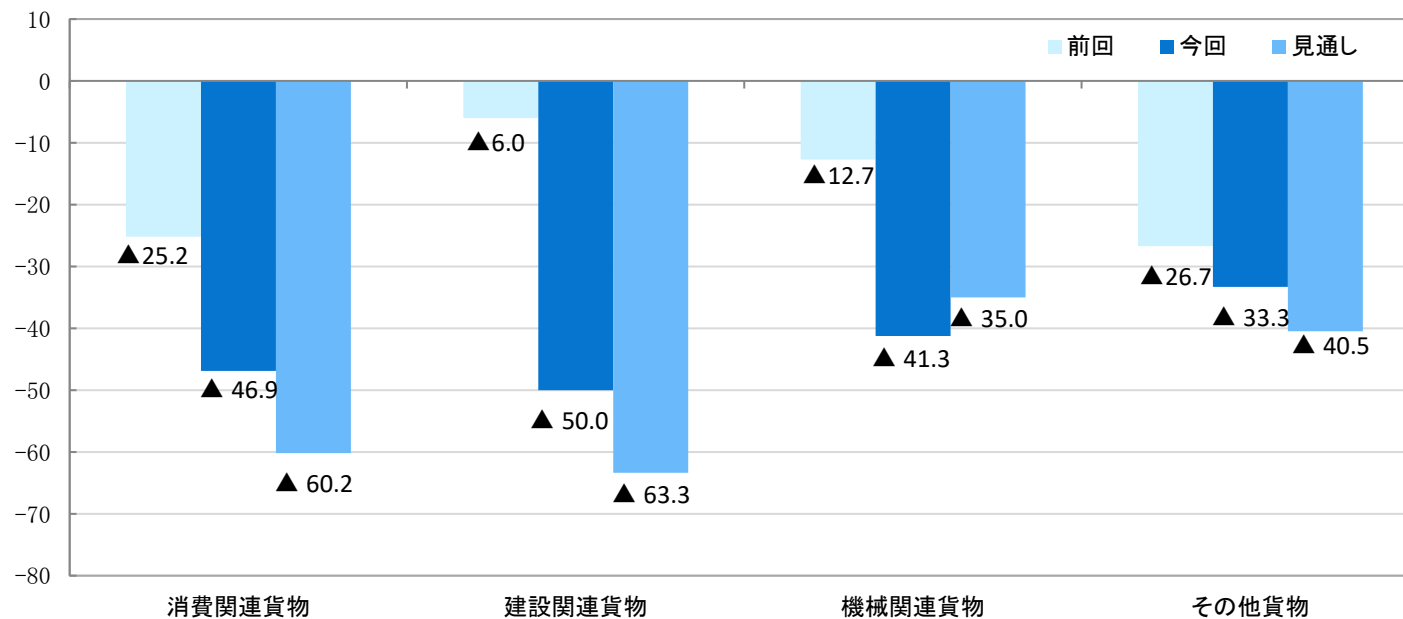
事業規模別 業界の景況感に関する指標の推移 (R2.4~6月期より)



品目 (注6)

- ・消費関連貨物：▲46.9(前回▲25.2)と21.7ポイント悪化、今後は▲60.2と13.3ポイント悪化見通し。
- ・建設関連貨物：▲50.0(前回▲6.0)と44.0ポイント悪化、今後は▲63.3と13.3ポイント悪化見通し。
- ・機械関連貨物：▲41.3(前回▲12.7)と28.6ポイント悪化、今後は▲35.0と6.3ポイント改善見通し。
- ・その他貨物：▲33.3(前回▲26.7)と6.6ポイント悪化、今後は▲40.5と7.2ポイント悪化見通し。

品目別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

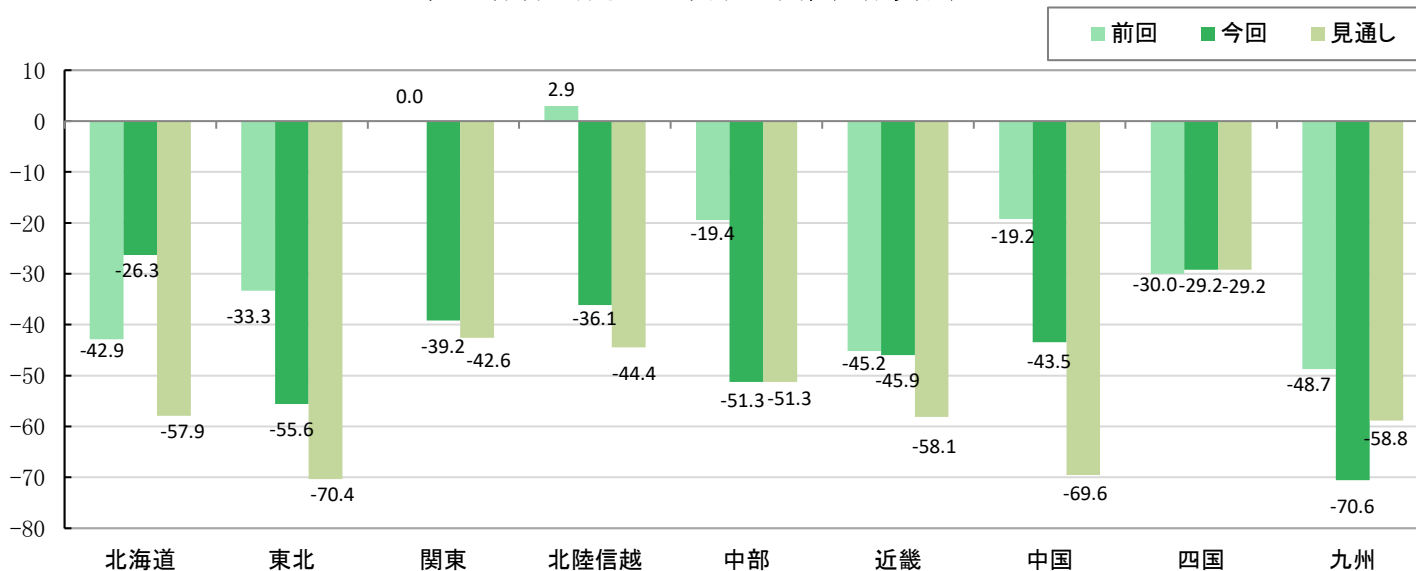
品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

7 事業者特性格別の特徴②：地域別・事業形態別 業界の景況感等

地域 (注7)

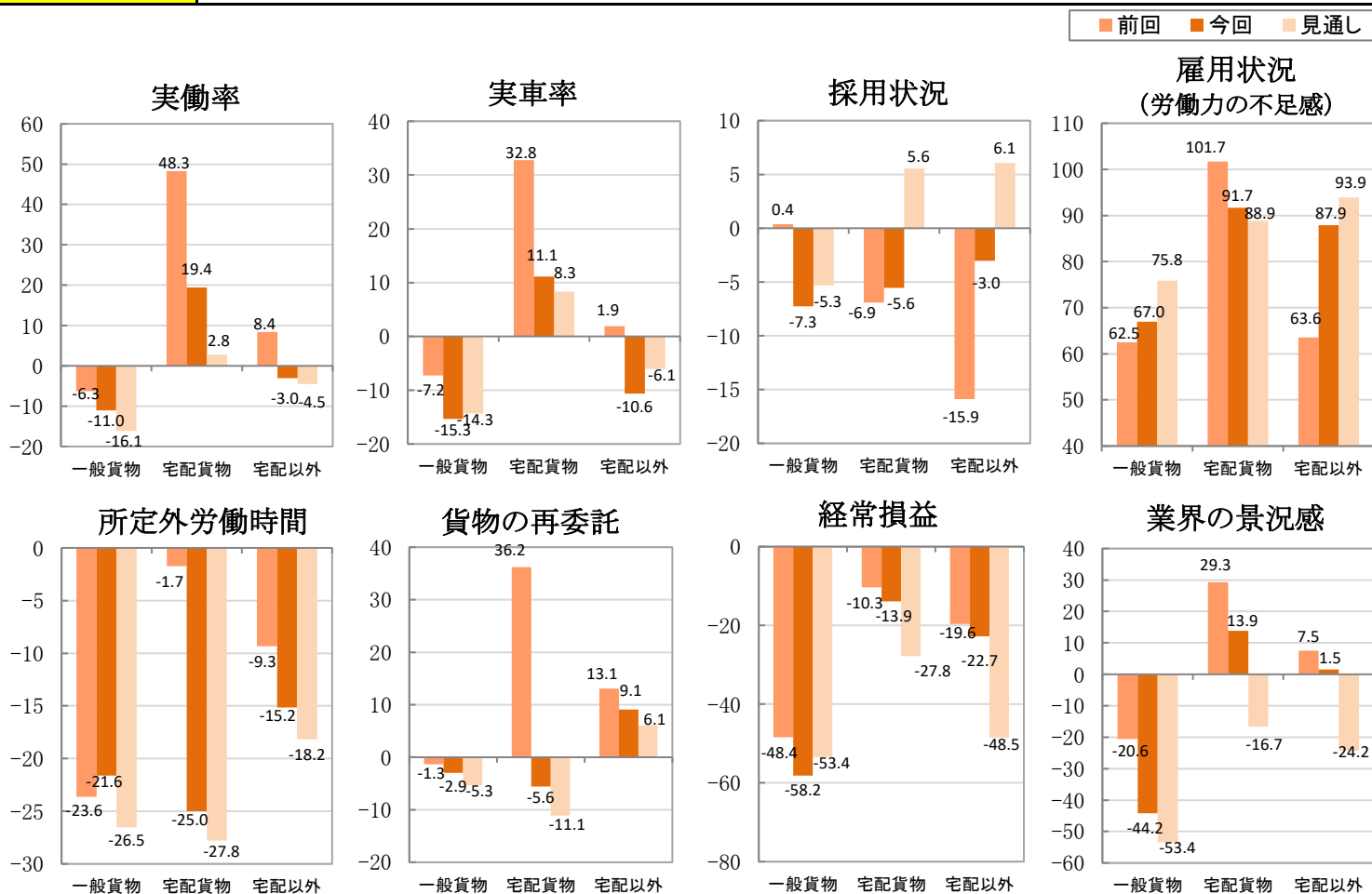
- 地域別にみると、北海道、四国が改善した。
- 来期の見通しとして、九州が改善する見通しである。

地域別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



事業形態別 (注8)

- 所定外労働時間は、全てにおいてマイナス圏にあり、縮減傾向にある。
- 労働力の不足感は、一般貨物、宅配以外の特積貨物で強くなり、来期も継続の見込みである。
- 業界の景況感は、宅配貨物13.9、宅配以外の特積貨物1.5、一般貨物▲44.2となっている。

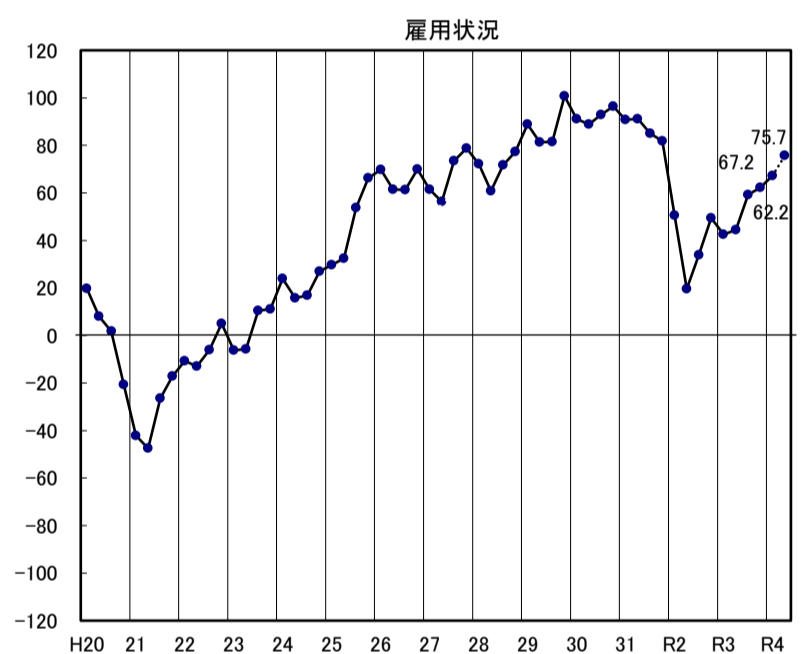
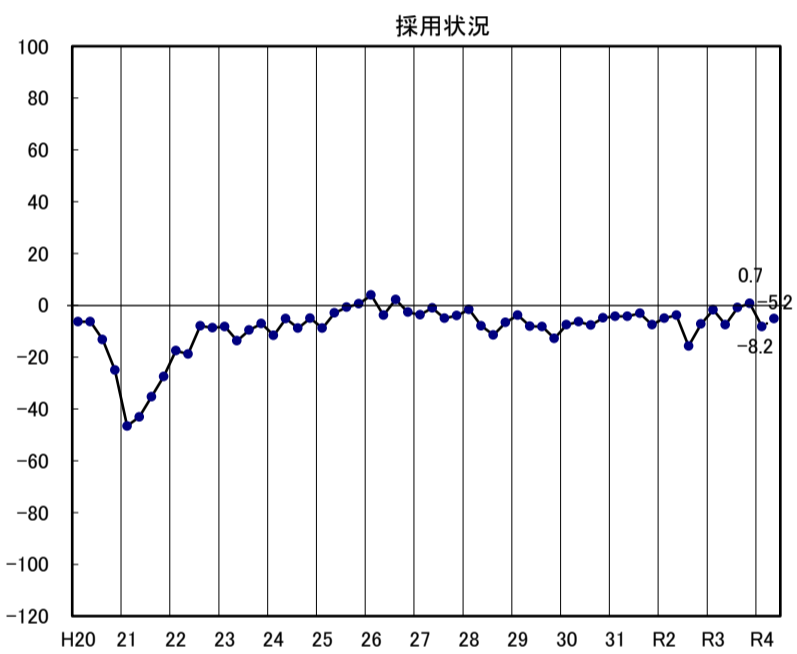
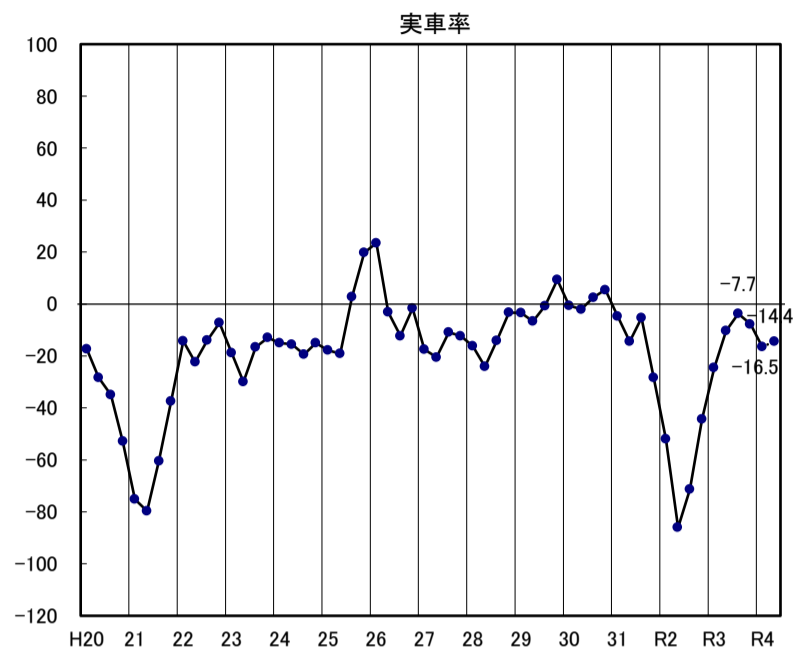
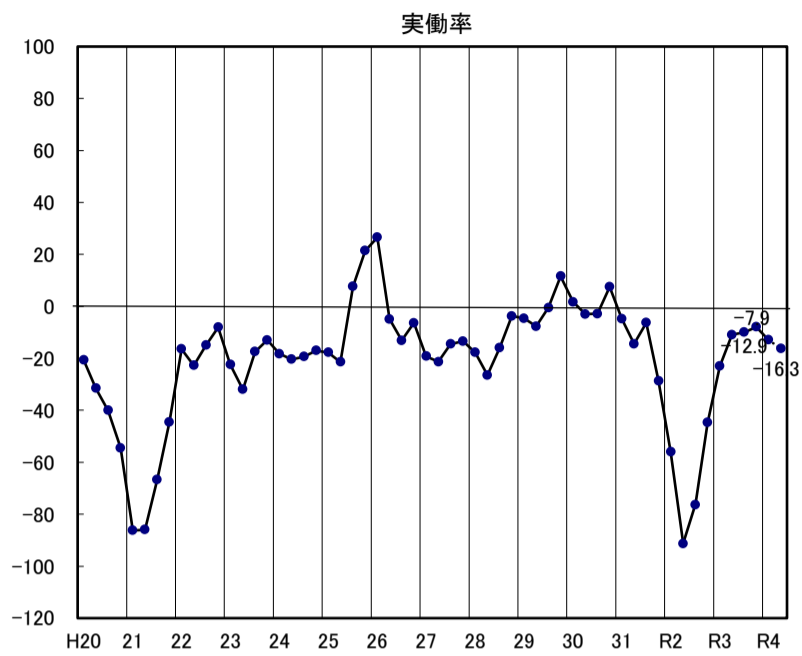


(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

8 業況判断指標の推移(平成20年～令和4年度第1四半期見通し)

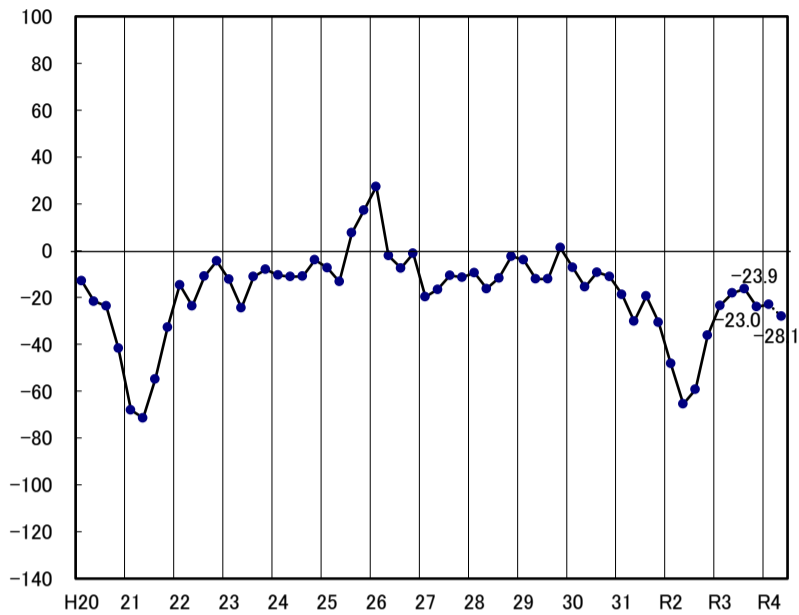
共通の概況①



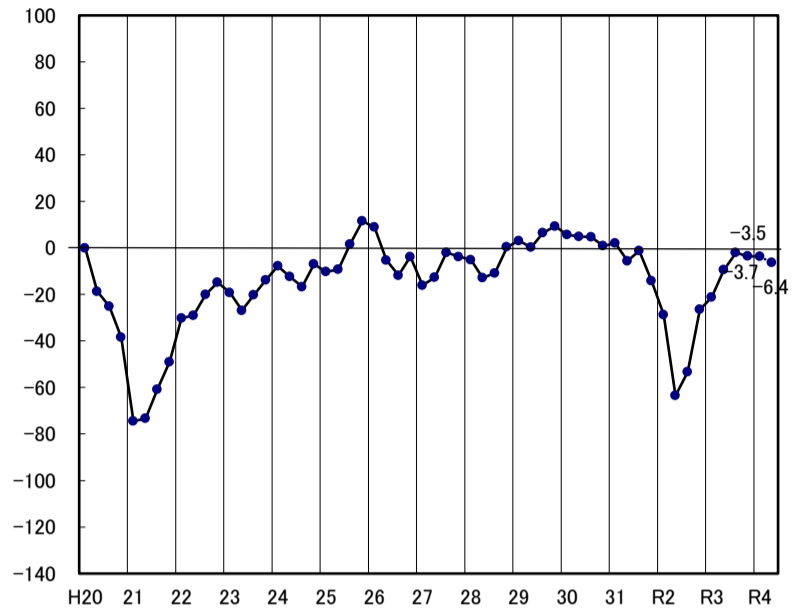
8 業況判断指標の推移(平成20年～令和4年度第1四半期見通し)

共通の概況②

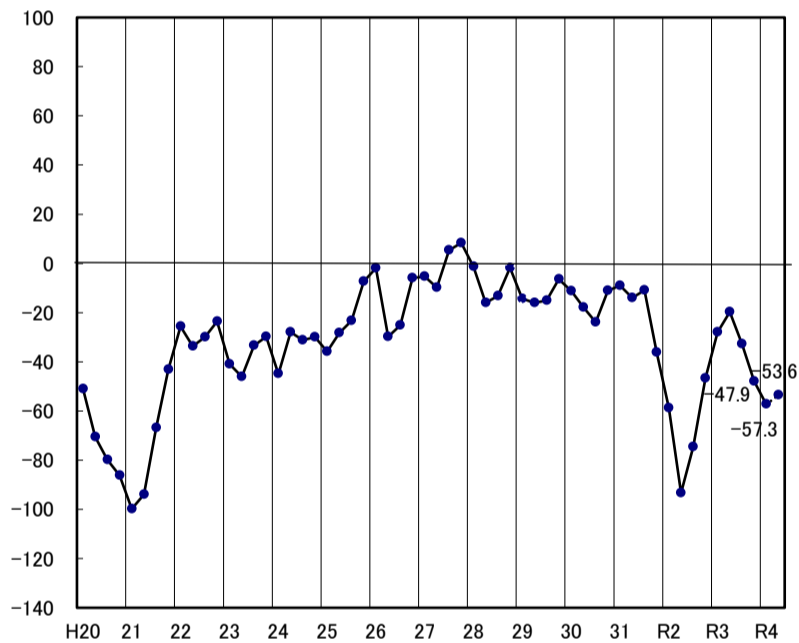
所定外労働時間



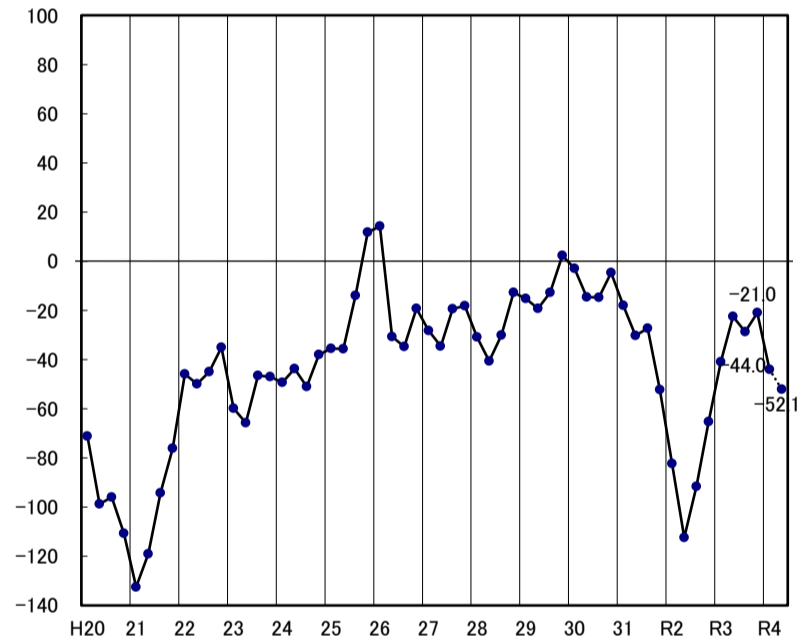
貨物の再委託



経常損益

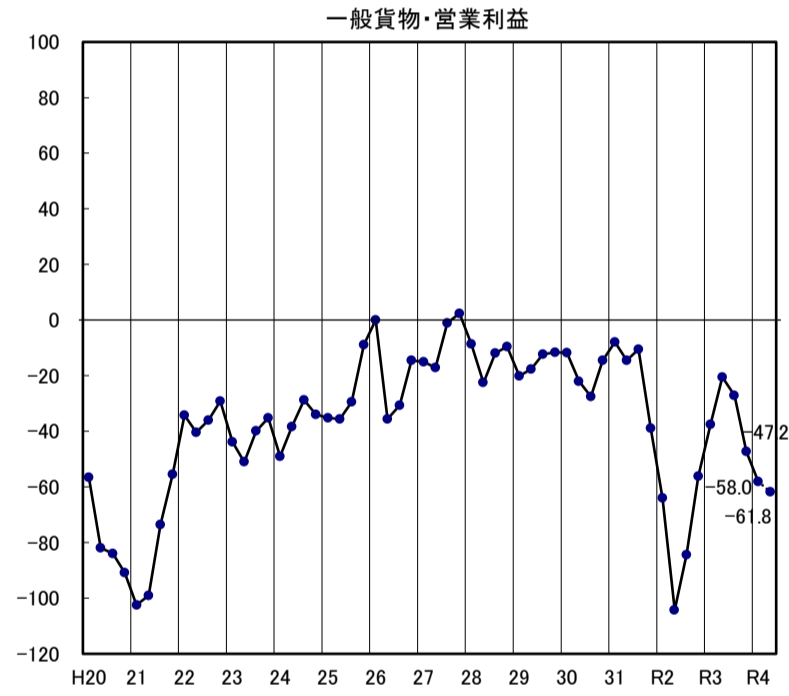
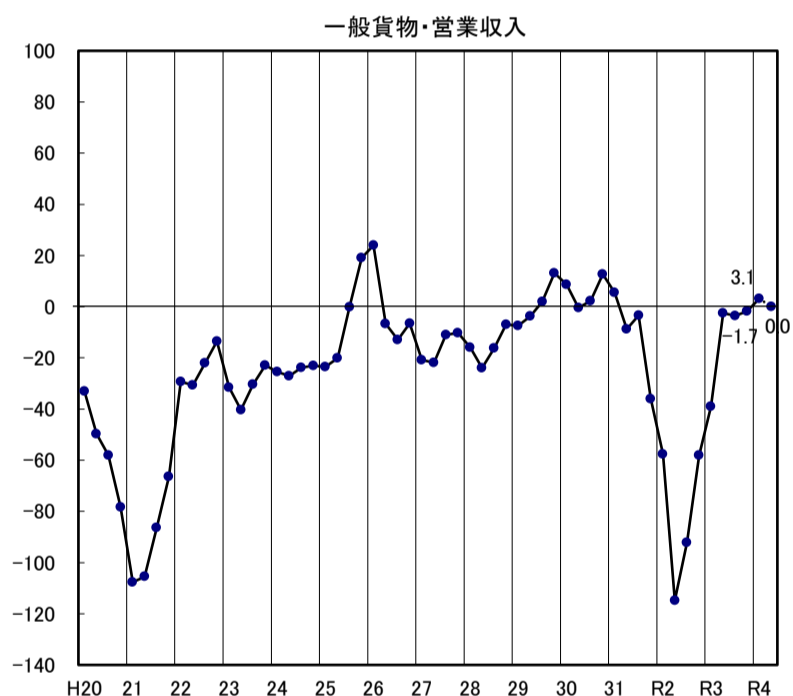
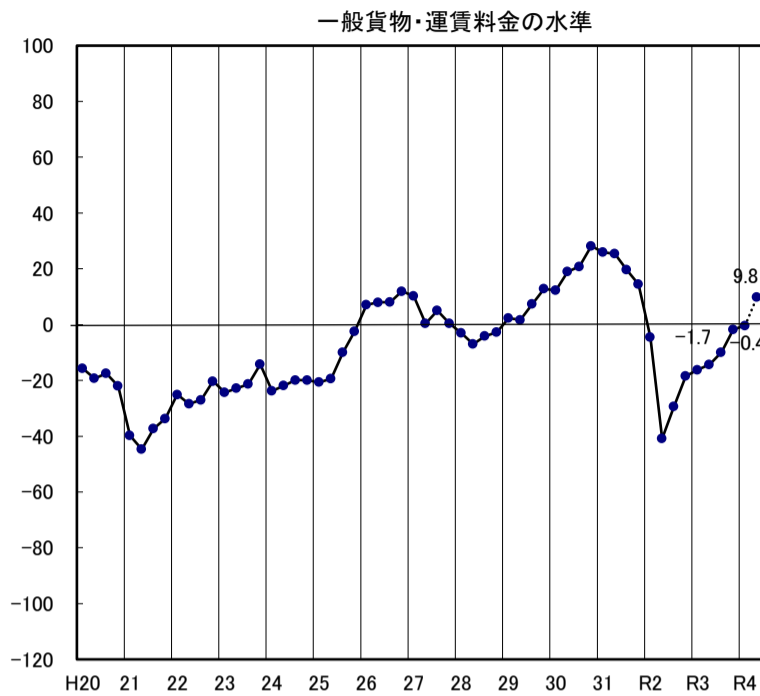
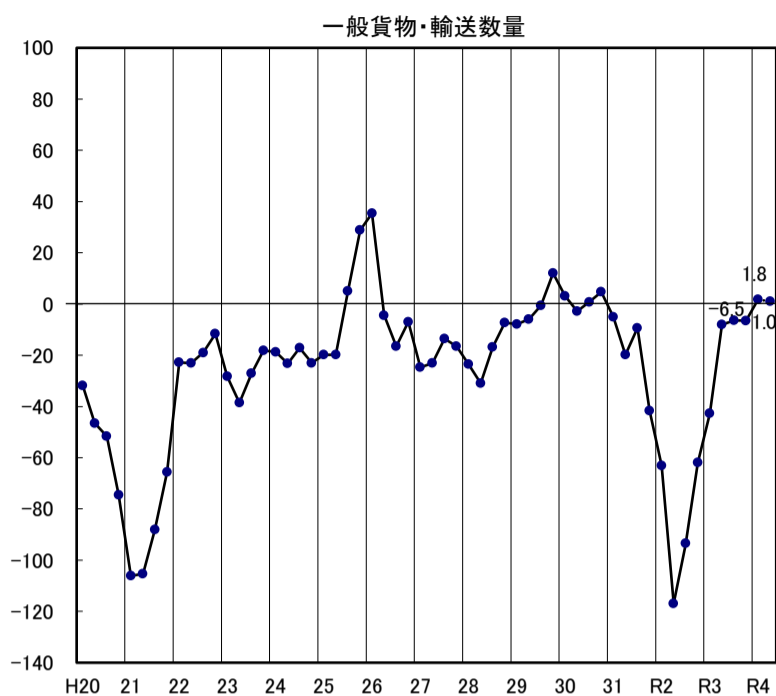


業界の景況感



8 業況判断指標の推移(平成20年～令和4年度第1四半期見通し)

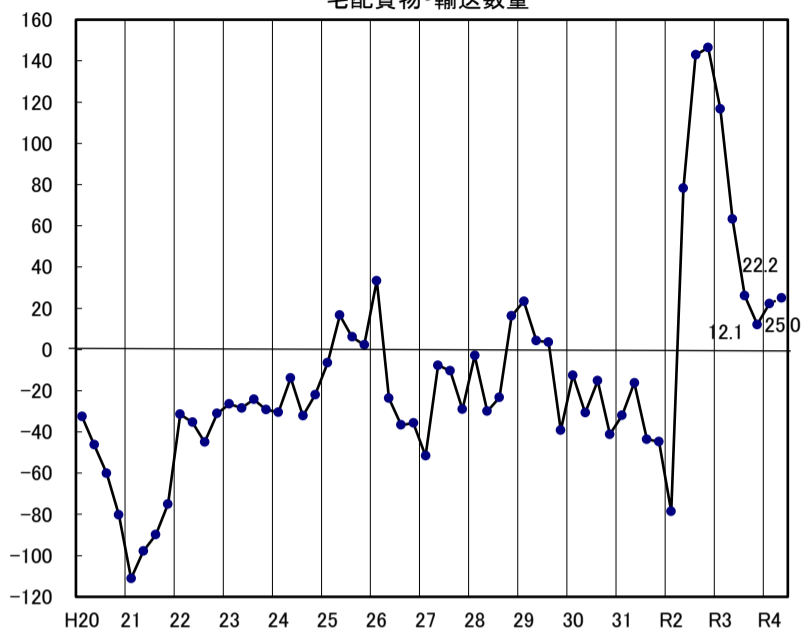
一般貨物



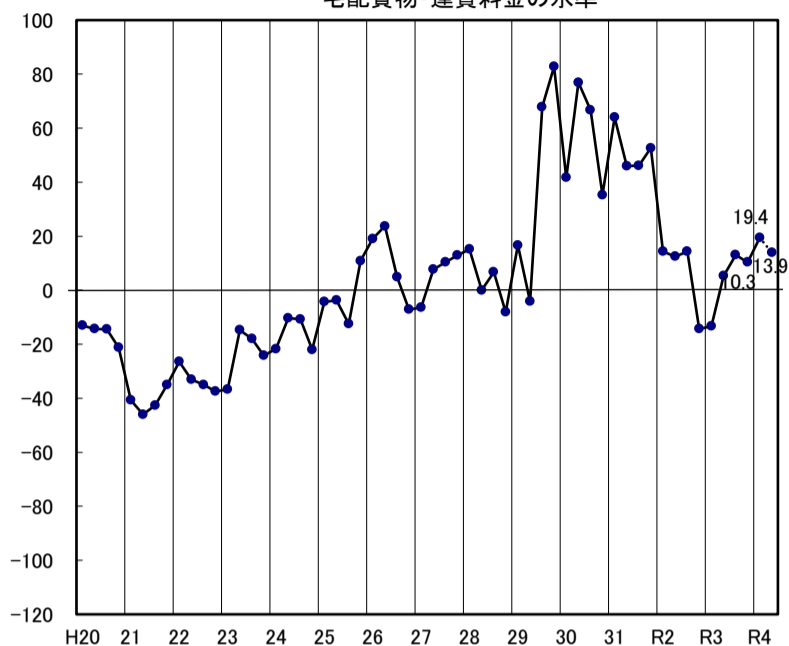
8 業況判断指標の推移(平成20年～令和4年度第1四半期見通し)

宅配貨物

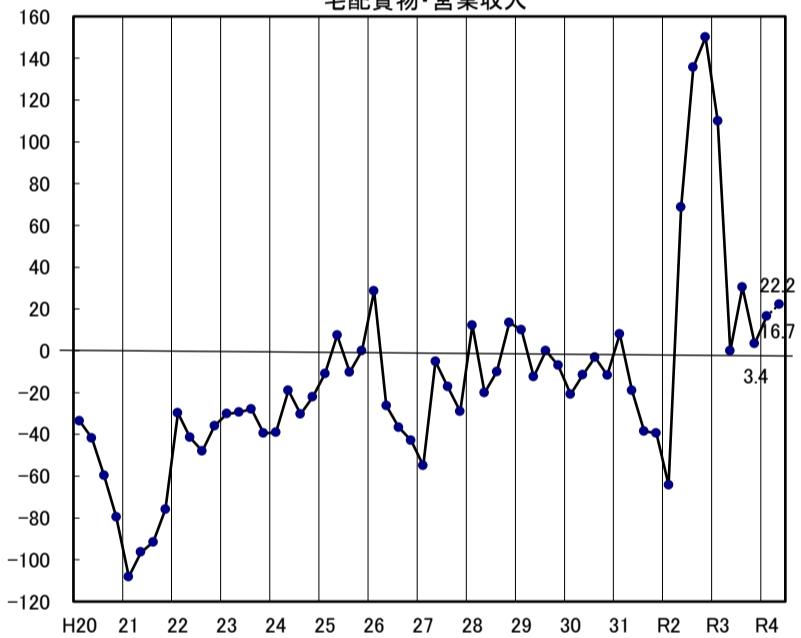
宅配貨物・輸送数量



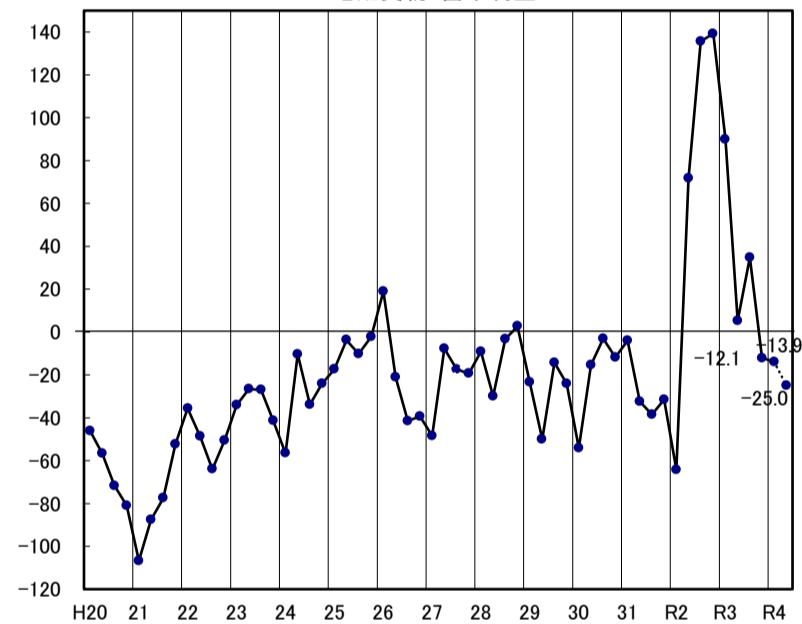
宅配貨物・運賃料金の水準



宅配貨物・営業収入



宅配貨物・営業利益



8 業況判断指標の推移(平成20年～令和4年度第1四半期見通し)

宅配以外の特積貨物

